

単元の学習課題  
分らない数量を含む問題について、文字を用いた式で表そう

本単元で育成すべき資質・能力

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等
文字式の表し方を理解することができる。また、文字を含む項を計算し、一般的な式に整理することができる。	一次式の計算を、日常の具体的な事象と関連付けて計算することができる。また、分らない数量を文字で表し、文字を用いた式で表すことができる。	文字を用いた式で表すことの意義を見だし、日常の事象を具体化するためには数値や式で表現することの大切さを理解する。日常のその他の事象でも具体化してみたいと考えることができる。

【単元のねらい】文字を用いた式で表すことによって、数量やその関係を簡潔・明瞭に一般的に表現する力をつける。

【目標】・文字式の表し方を理解する。  
・文字を用いる意義を理解し、その式を計算・整理し、一般的に表現することができるようにする。

単元のまとめ

これまで学習した内容を踏まえて、振り返りシートに作成した「到達課題」を解き、「単元の振り返り」を記入する。

文字式の表し方を理解し、一次式の計算では同じ文字を含む項はまとめて計算することが分かった。知 文章題では、分らない数量を文字で表し、その式を整理することで一般的な式として表現することができた。思 「当たりやすさ」といった抽象的な表現に対して、数値あるいは文字を用いて具体化することで説得力が増すことが分かった。他にも身の回りにある抽象的なものに対して数値などで具体化してみたい。学

第7時 文字式の計算のまとめ【本時】

「当たりやすさ」を文字を用いた式で表現することができる。思 学

第6時 文字式の計算（3）

1次式と数の乗法と除法の計算ができる。知

第5時 文字式の計算（2）

文字を含んだ式で、減法の計算ができる。知

第4時 文字式の計算（1）

文字を含んだ式で、加法の計算ができる。知

第3時 式の値と代入

文字で表された式に数を代入し、式の値を求めることができる。知

第2時 文字式の表し方

文字式の表し方を理解することができる。知

第1時 単元の導入

マッチ棒を使って規則的に並べた正方形がたくさんあるとき、その数え方を説明することができる。思 学

【単元の入り口】生徒の姿

小学校5年生までで、数の代わりに、ことばの式や□や△などの記号を使い、小学校6年生からは記号の代わりに×などの文字を用いることを学習している。